

## 科学・技術と倫理の問題を再考する -宗教と女性の視点から-

元・清泉女子大学学長、清泉女子大学名誉教授  
岡野 治子 氏



ロシアのウクライナ侵攻が始まって半年以上になります。大半は情報戦争とも言われ、そこには最新の技術が使われています。本来、科学・技術は人類の平和、安全を願い、人々の生活を豊かにするためのものである筈ですが、なぜこのような事になってしまうのでしょうか。これは一つの例ですが、12月度セミナーでは、科学・技術と倫理の問題を宗教と女性の視点から考察して頂きます。

1. 日時：2022年12月17日(土) 13:30~16:15
2. 会場：品川区立中小企業センター 2F 中講習室【ZOOM ミーティング 参加可能】  
地図/アクセス: <https://stf.or.jp/top/images/file/m476.pdf>  
東急大井町線・下神明駅徒歩 2分/JR 京浜東北線・大井町駅徒歩 15分

### 3. 講演概要：

「科学・技術の基礎研究は、客観的、価値中立的、普遍的」という考え方は、20世紀中盤まで欧米の常識であった。しかし科学・技術の成果にも、(資本主義の必然で)どこかで元を取らねばならない経済問題が絡む。ゆえに貧富の格差がグローバルに広がっている。さらに平和・安全・健康のための科学研究も、世界の諸事情によって、非人道的な武器に転用される危機をはらむ。基礎科学に付随するかもしれないこうした問題性に対処するには、「倫理」面での配慮が不可欠となっている。原子力の平和利用や遺伝子工学の目覚ましい進展の背後に、どのような倫理的問題が潜んでいるかを再考したい。倫理の母体ともいえる「宗教」との関係性も問い直す必要がある。

ガリレオ・ガリレイの宗教裁判に見られるように、科学とキリスト教(総じて宗教一般?)とは、不協和音の関係であった。しかるに近年では、宇宙論、素粒子論の理論物理学の領域でさえ、両者の相補関係が強調されている。

同時にフェミニズム理論が批判するように、科学・技術、哲学/倫理学等に読み込まれてきた客観性、価値中立性、普遍性の概念は、男性本位、男性視点で構築されており、女性の存在、ひいては人々の実生活に根差した視点(生活の視座)が無視されてきた可能性がある。妊娠中絶、生殖・遺伝子医療/組み換え、臓器移植、気候変動、原子力等の問題が、バランスの取れた視点によって、実践的に、また柔軟に対処されることが喫緊に望まれている。従来欠落していた視点を補うことで、科学・技術と宗教・倫理が機能する「女性、男性、社会的弱者が生きやすい社会とは? その環境とは?」、その構想の前提を再考したい。

### 4. 講師略歴：

東京都出身。上智大学外国語学部卒業、ボン大学哲学部比較宗教学科修了(哲学博士 Dr. phil.) 実践女子大学教授、広島大学教授、清泉女子大学教授/学長を経て、清泉女子大学名誉教授。フランクフルト大学神学部、ザルツブルク大学神学部、ティルブルク大学神学部の元客員教授。東京、横浜などで市民講座の講師を務め現在に至る。現在に至る。

【専門分野】 比較宗教学、社会倫理、ジェンダー論。

【主な著作】

- 『女と男の時空 女と男の乱 日本女性史再考 中世篇』 編著、藤原書店 1996年。
- 『女性の視点によるキリスト教神学事典』 共編著、日本キリスト教団出版局、1998/2002年。
- Christliche Theologie im japanischen Kontext (日本の諸宗教とキリスト教との対話の試み) IKO-Verlag 2002年
- 『希望の倫理-自律とつながりを求めて』共編著、知泉書館 2012年。
- Das Prinzip der Harmonie in den Religionen Japans -Herausforderungen und Perspektiven fuer eine Interkulturelle Theologie (日本の諸宗教における「和」の原理の功罪 - 異文化間対話の試み)、Gruenewald社 2020年など。

5. 参加費：事前に Peatix (WEB チケット) \*でお支払いください。

- |   |         |
|---|---------|
| ・ 科学技術者フォーラム(STF)会員、学生：   | 1,000 円 |
| ・ 友好団体会員/メンバー：  | 1,500 円 |
| 経営支援 NPO クラブ、次世代農業フォーラム、シニアエキスパートフォーラム、<br>テクノメイトコープ、BCC-NET、表界研 など |         |
| ・ 当セミナー元講師：   | 1,500 円 |
| ・ 一般：   | 2,000 円 |

\*【Peatix の利用法】 <https://stf.or.jp/top/images/file/m517.pdf>

上記 URL を参照し、アカウントの取得（登録）の手続きをした上でお申込み下さい。

なお、Peatix の利用ができない (or 操作不明な) 方は担当までご相談下さい。

6. 参加申込の方法

- ・ 事前に下記 URL からお申込みください。会場参加もしくは WEB 参加の後日変更は可能です。

<https://peatix.com/event/3377124/>

- ・ **申し込みのない方の当日の会場（飛び込み）参加はできません。**
- ・ 申込締切はクレジットカード払いの場合、12月14日（水）23時で、ゆうちょ銀行やコンビニなどのATM払いの場合、13日（火）で締め切ります。
- ・ Peatix の入金を確認された方へは、順次受付メールをお送りします。また、ZOOM ミーティング名や URL、パスコード、手元資料等の案内は前日 16 日（金）までに事務局からメール配信されます。
- ・ 領収書の必要な方は、[こちら](#) をご覧ください。

※ 講演中の画面撮影や録音などは、ご遠慮願います。

\*\*\*\*\*

NPO 法人 科学技術者フォーラム (STF)

12 月度セミナー担当 山岸 任

E-mail: [jiny@sf6.so-net.ne.jp](mailto:jiny@sf6.so-net.ne.jp)

Mobile: 080-5511-1380

URL: <https://stf.or.jp/>

\*\*\*\*\*